

# 東小学校だより

令和6年2月号  
寝屋川市立東小学校  
校長 野村 理恵

## 152回目の創立記念日（1月25日）

1年で最も寒さが厳しい時期である大寒（1月20日）が過ぎ、2月の声を聞くと4日の立春とともに暖かな春の訪れが待ち遠しくなるころになります。子どもたちは寒さにも負けず、運動場で白い息を吐きながら元気よく遊び、体育の時間にはサーキットトレーニングや持久走などに取り組んでいます。

1月25日は東小学校の152回目の創立記念日でした。1873年（明治6年）に秦村大恩寺内の仮校舎で堀溝郷学校秦支校として開校したのが東小学校の始まりです。令和4年度に150周年の記念誌を発行してお祝いをしました。記念誌を見ていると、地域や保護者の方、歴代校長先生を始めとする教職員の諸先輩方の教育に対する熱い思いが伝わってくるようです。昔も今も子どもたちの学ぶ姿や行事を楽しむ姿は変わらず、時代が変わっても子どもたちの学ぶ意欲や純粋さは変わらないことを実感します。これからも連綿と続いていく東小学校の歴史の1ページを、今いる子どもたちと一緒に飾っていくことはとても喜ばしいことだと思います。

そして、今年度は一中校区3校で一つのコミュニティスクールとして学校運営協議会が発足し、一中校区3校の結びつきがより深くなりました。教員同士の交流や合同研修、授業公開などで一中校区としての学校力の向上をめざして活動しています。また、児童会・生徒会サミット、中央小・東小4年生と一中吹奏楽部との音楽交流会や6年生の一中体験授業など児童生徒の交流も実施したものと予定があります。

このように、これからは東小学校としての歴史を重ねつつ、一中校区としての歴史も同時に重ねていくことを念頭に置きながら教育活動を進めていきます。子どもたちが一中校区を愛し、地域の一員であるという自覚を持って大人になっていくことを願っています。

## 書初め大会

1月11日（木）、12日（金）に書初め大会をしました。1,2年生は教室でフェルトペン、3～6年生は体育館で毛筆をしました。体育館では指導講師として、今年も笹原先生に一文字一文字ご指導いただきました。寒い中ではありましたが、床に書初め用紙を広げ、真剣な表情で心を込めて作品を仕上げていました。

2/6(火)

13:45～授業参観

14:45～学級懇談

15:15～書写作品展

2/15(木)

4年授業研

4年以外13:20下校

4年14:35下校

2/19(月)

6年一中体験授業  
&クラブ見学

2/21(水)

市教研日課

5-4以外14:05下校

5-4は15:40下校

2/28(水)

8:30見守り感謝集会

クラブ

1～4年14:05下校

5,6年15:00下校

3/15(金)

第152回卒業式

3/22(金)

修了式

## 避難訓練

1月23日（火）の業間休みに、地震避難訓練を行いました。緊急地震速報の訓練放送が聞こえると運動場で遊んでいた子は運動場の中央に集まり身をかがめ、教室で過ごしていた子は机の中に入りダンゴムシのポーズで頭を守りました。避難訓練の合言葉は「おはしも」です。みんな「押さない」「走らない」「しゃべらない」「もどらない」を意識して、運動場に避難しました。地震はいつどこで起こるかわかりません。もし地震が起きたら、まずは必ず頭を守るなどについてお話を聞きました。それぞれのご家庭でも、もし地震が起きたらどうしたらいいのか、頭の守り方や避難の仕方についてご相談下さい。震度5以上の地震が起きた場合は、できるだけ早くお子様のお迎えをお願いします。メールの配信ができない場合も考えられますので、メールは待たずにお迎えをお願いします。

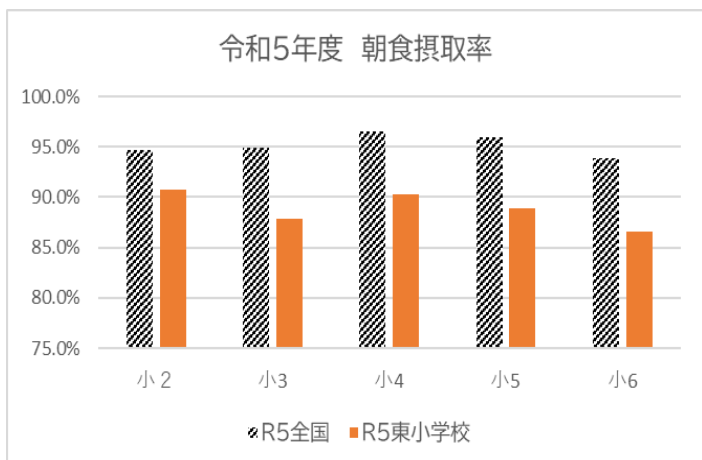


## 給食感謝集会

1月24日（水）の朝の時間に、給食感謝集会を行いました。まず、給食委員の児童が代表して、各クラスの感謝のメッセージカードを給食調理員さん、技能職員さん、安全監視員さんに渡してくれました。次に、給食委員から給食に関するクイズを出してもらいました。子どもたちにとっては給食のメニューの数やごはんとパンはどっちが多く出るか等、知らないこともあったようです。これからも日頃から給食をつくってくれる給食調理員さんや環境を整備してくれている技能職員さん、安全を守ってくれている安全監視員さんに感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

## 朝ごはんについて

1日のスタートは朝ごはんから！



令和5年度に実施した東小学校の朝食摂取率の調査結果です。全国平均値と比べると、全ての学年において下回っているという状況です。

食事、運動、休養及び睡眠の望ましい生活リズムを身に付けるためには、望ましい食習慣が不可欠です。1日を気持ちよくスタートするための朝食は、その重要な役割を担っています。ご家庭でも改めて朝食についてお子さまと考えていただくなど、学校と家庭が連携しながら一緒に食育を進めていきましょう。